



本年も「大石田出張所」と「川通信おおいしだ」をどうぞよろしくお願いいたします。



油流出事故にご注意を！

最上川水系では、残念ながら毎年多くの油流出事故が発生しています。

河川に油が流れるとどんな影響があるのでしょうか…

流出した油は側溝や水路を通じて川に流れ込みます。川の水は農業用水にも使われていますので、農作物に被害が及ぶだけでなく、川の生態系にも影響を与えてしまいます。

流出した油は乾いた布や新聞紙等で拭き取ってください。水で洗い流すことは被害の拡大に繋がりますのでやめましょう。



▼もしも油が河川に流出すると、下記のような影響が生じるおそれがあります。▼

生態系への影響
(魚・虫・鳥・植物等)

生活環境の悪化
(油臭等)

工業用水の場合
工事停止も…

水力発電所の
運転停止

上水道の
取水停止

田んぼの作物
の影響

知っていますか？

1リットルの油を魚が住める状態にするためには約20万リットルの水が必要になるんです。



油流出事故のほとんどは一般家庭で起きています。日々の心掛けを忘れず、油の取り扱いには十分注意しましょう。

油流出事故を防ぐための心掛け

ご家庭のホームタンクは大丈夫ですか？

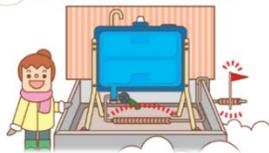
1 その場を離れない

ホームタンクなどから灯油を小分けするときは絶対にその場をはなれないようにしましょう。



2 配管の場所には目印を

除雪による配管の破損を防ぐために目印を立てておきましょう。万一に備え防油堤を設置しておくで安心です。



3 落雪に注意して

屋根からの落雪による配管の破損・脱落やホームタンクの転倒に注意しましょう。



4 定期点検を怠らない

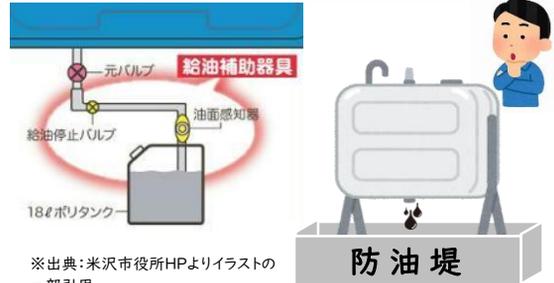
配管やホームタンクの定期点検に努めましょう。



ホームタンクから18ℓのポリタンクへの小分け作業にかかる時間は約2分程度です。

その場を離れないことに加えて、もしもの心配を減らすために、ホームタンクに「給油補助器具」を取り付けてみましょう。さらに「防油堤」を設置すると、万が一灯油が漏れた場合でも安心です。

(お近くの灯油販売店・ホームタンクを設置した配管設備店にお問い合わせ下さい)



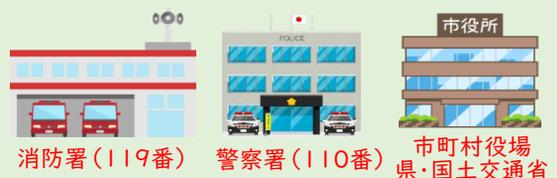
※出典:米沢市役所HPよりイラストの一部引用

油流出事故が発生しています！

R5.12/21大石田町内において、油流出事故が発生しました。原因はホームタンクからポリタンクへの小分け作業中の人為的な操作ミスでした。

油流出事故は決して他人事ではありません！油流出事故をおこした場合、また川の表面に油膜を発見したり油臭に気付いた時は、すぐに通報してください。

油の撤去に要した費用は事故を起こした原因者の負担となります。



水門等水位観測員さんのお仕事を知っていますか？

堤防の各所に設けられた排水樋管の定期的な維持管理や洪水時の樋管ゲート操作及び川の水位観測についての作業を地域の方に委嘱しています。

(大石田出張所では50名の観測員さんが活動しています)

近年の気候変動でまとまった雨が降ったり、12月になっても暖かく、雪ではなく雨が降るなど、冬になっても出水への注意が必要な状況となっております。

講習会では、いざという時に備え樋管操作時の留意点や点検整備について改めて学んいただきました。また講義後の座談会では「洪水対応が長くなると食事の準備も難しくなり、苦慮している」など、令和2年7月豪雨の体験を元にした貴重なお話を伺うことができました。



講習会の様子

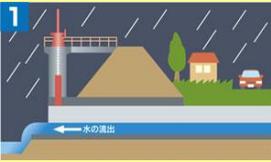


樋管点検の様子

12月21日(木)に新庄河川事務所内において、排水樋管の正確な操作と点検手法の向上を目的に水門等水位観測員の方を対象とした講習会を行いました。
講習会は定期的に開催しているものですが、当日は感染対策のため、コロナ禍以降に任命された講習会未経験の観測員さんを中心とする最小規模で行われました。

水門等水位観測員講習会を行いました。

【排水樋管の役割】



1 普段は排水樋管の門扉は開いており、生活排水や雨水等を流していますが...



2 大雨の影響で川の水位が上がると川の水が住宅側へ逆流してしまうため、樋管のゲートを閉めます。



3 住宅側の水の行き場がなくなると浸水被害の心配が起りますが、排水機場を設置したり排水ポンプ車で排水作業を行うなどの対策を行っていきます。



4 雨がやんで川の水位が下がり、安全が確認できたら、水路の水が溢れないように樋管のゲートを開き住宅側の水を川へ流します。

テックフォース TEC-FORCE活動報告



※TEC-FORCE(Technical Emergency Control FORCE)

災害派遣

1月1日発災の能登半島地震被災地に、東北地方整備局からもTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)を派遣しています。新庄河川事務所からは第1陣、第2陣、各班4名ずつが石川県珠洲市において、砂防の被災状況調査を行いました。(1月19日現在)



1/5 第1陣出発式の様子



1/14 被災状況調査の様子

被災された方々の安全と健康をお祈りいたします。また被害を受けた地域の1日も早い復旧・復興を願っております。

11/21(火)安全施工優良企業(現場代理人)表彰式

新庄河川事務所では、工事事故防止のために積極的な取り組みや創意工夫をおこなった企業(現場代理人)を表彰しています。今年度は「最上川中流毒沢地区災害復旧工事」を担当した株式会社はながさ建設の現場代理人兼管理技術者:加藤優介さんが表彰されました。



現場代理人/加藤優介さん

12/15(金) 河川・ダム管理技術検討会

管理業務に関する課題や取り組み事例について情報共有し、管理技術の向上を図ることを目的とした発表会が開催されました。当出張所からは本間管理第一係長が大石田小学校でのマイ・タイムライン作成支援について発表し、「最優秀賞」をいただきました。



(最優秀賞) 本間管理第一係長

【発行】

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 大石田出張所 (担当:本間・浅沼)

〒999-4113 大石田町大字今宿字鷺の原466-2

(TEL)0237-35-2024 (FAX)0237-35-2354

※「川通信 おおしだ」をご覧になってのご感想やご意見をお寄せ下さい。

※工事現場や河川管理施設をご覧になりたい方は、大石田出張所までご連絡ください。

ホームページもご覧ください!
<http://www.thr.milt.go.jp/shinjyo>

新庄河川

検索

